

## 音楽アーティスト科 ギターコース 受講科目一覧 2年次

文化・教養専門課程（文化・教養分野）

1 単位時間 45分

授業科目		年間授業 時間数	週授業 時間数	単位数
講義	一般教養Ⅱ	74	2	4
講義	音楽理論/調音Ⅱ	74	2	4
講義	音楽史Ⅱ	74	2	4
講義	作曲編曲Ⅱ	74	2	4
実習	作品制作	148	4	4
実習	分野別実習Ⅱ	74	2	2
実習	歌唱/演奏基礎技術Ⅱ	74	2	2
実習	歌唱/演奏応用技術Ⅱ	74	2	2
実習	サウンドアナライズⅡ	74	2	2
演習	アンサンブル基礎Ⅱ	74	2	4
演習	アンサンブル応用Ⅱ	74	2	4
合計		888	24	36

## 専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	分野別ゼミⅡ		授業形態 / 必選	講義	必修
	学則別表上表記	一般教養Ⅱ	年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	37回(74単位時間)	年間単位数	4単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科 ギター				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目			該当 <input type="checkbox"/>	非該当 <input checked="" type="checkbox"/>
担当講師 実務経歴					
<b>授業概要</b>					
主にパフォーミングアートの歴史(音楽史、演劇史、芸能史、身体表現の歴史)を通してこれらの体系を理解することでアーティストとしての自らの在り方を探ると同時に、哲学などを学びながらそれらのエッセンスを加味することによりそれぞれの美学に立脚した活動を促す。					
<b>到達目標</b>					
オリジナルパフォーマンス、オリジナルアンサンブル、セッションワークなどの様々なパフォーミングアートの理論を通してそれらコンテンツの基本構造を理解し、実際の表現学習の類型を体系的に捉えることにより知識量を飛躍的に向上させます。またプロフェッショナルへの入り口として技や演出力のレベルを上げ、実際のショービジネスの世界で通用しうるかのシビアな目線によって、より高度な表現方法への造詣を深め、且つ表現者としてそれらを体得していく。					

授業計画・内容	
【前期】 1～4回目	エンタテインメント作品とは歴史や人間性など人生哲学がダイレクトに投影されるという視点から様々な先人の類型を紐解きながらアーティストとしての生き様を討議などを交えて考え出していく。
【前期】 5～8回目	音楽の起源から中世・ルネッサンス、バロック、典派、ロマン、近代・現代の音楽と作曲家、また現代ポピュラーミュージックへ多大な影響を与えたアメリカンルーツミュージックの体系・系譜を学びそれらが現代音楽へ与える影響を推察する。
【前期】 9～12回目	日本の音楽史の中でポイントとなる雅楽、声明、琵琶楽、能、文楽、歌舞伎、地歌、箏曲、尺八などの演奏、発声、ステージシステムなどを体系的に理解しそれらが現代音楽へ与える影響を推察する。
【前期】 13～16回目	身体表現の歴史では舞踏やダンスは様々なスタイルの累積により進化し、過去から現代へと融合し、新たなムーブメントが生まれ出される。そのルーツやスタイルの系譜を見ながらそれぞれの表現の成り立ちを推察する。
【前期】 17～19回目	演劇の起源、古代ギリシア、宗教との関わり、シェイクスピアなどの劇作家の登場、貴族、大衆文化による発展など西洋演劇史と日本の古代から中世にかけての伎楽、猿楽、田楽、能、狂言など、また近世の歌舞伎、人形浄瑠璃などの在り方を学ぶ。 ■前期試験: 筆記試験にて、前期で学習した内容の理解度を確認する。
【後期】 20～23回目	近世の歌舞伎役者から戦前戦後のテレビ、漫才、落語、コント、ドラマ、時代劇、マジック、ラジオなど大衆文化の担い手となったコンテンツが何故、人気を博したかの推察を行う。また、芸能事務所、エージェントなどの担った役割も解説する。
【後期】 24～27回目	デジタル技術やインターネットの普及によって、パフォーマンス側が自らのイベント情報を発信し、直接オーディエンスやユーザーと繋がり、ダイレクトにビジネスを行なうことが可能な時代において自らが自分という商品のブランドを高め、且つビジネスの知識、業界の仕組みを知らないとセルフプロデュースを試みられないことから現代におけるプロデュース論を学習する。
【後期】 28～31回目	コンサートの企画・立案から運営まで、またステージにおける音響、照明、テック、ローディー、舞台監督など技術系スタッフの動きや役割などの全般理解を行い、多角的な視点でイベント運営を見つめられるようにする。
【後期】 32～35回目	民族交流や伝播による世界各地の思想・宗教・文学・歴史・民俗・美術・音楽などの発生を知ると同時に、新たな地域文化が生まれる際のメカニズムなどを推察していく。
【後期】 36～37回目	ビジネススキルとして対人関係、主にコミュニケーション、会話、交渉、プレゼンスキル、コーチングなど、また自己管理としてスケジュール、目標、タスク管理術を理解させ、一社会人として業界で活躍できるようにこれらの有効性を学習させる。 ■後期試験: 筆記試験にて、後期で学習した内容の理解度を確認する。
評価方法	前期試験、後期試験ともに筆記試験を実施し、S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価を行う。
学生へのメッセージ	アーティストとして活動する為のノウハウ、音楽業界で活躍する為に必要な知識を習得し、自身の音楽活動に活かしてください。また、音楽業界に求められる人材として自己をアピールできるように、様々な教養を身につけていくことを目的としています。
備考	

## 専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	インプロヴィゼーション理論Ⅱ		授業形態 / 必選	講義	選択
	学則別表上表記	音楽理論/調音Ⅱ	年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	37回(74単位時間)	年間単位数	4単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科 ギター				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目			該当	■ 非該当 □
担当講師 実務経歴	・ロックバンド「凶鑑」にてドリーミュージックよりアルバムを全国リリース ・FREAK等、アーティストのコンサート、レコーディング時のバックアップミュージシャン 上記の経歴を活かし、職業として求められる「音楽理論、即興演奏技術、表現力等」の指導を行う。				
<b>授業概要</b>					
セッションのスタンダード曲や幅広い楽曲を用い、実際に演奏することでセッションに慣れていきます。他パートとリアルタイムでやり取りし楽曲を作り上げていく楽しさを学びます。					
<b>到達目標</b>					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・楽曲やジャンルにあわせたアドリブプレイを演奏できる。</li> <li>・他パートと楽曲を作り上げていくことができる。</li> <li>・楽曲に沿ったアドリブプレイ、バックアップができる。</li> <li>・他パートの音に注意し反応できる。</li> </ul>					

授業計画・内容	
【前期】 1～4回目	【課題曲①】Pick Up the Pieces/アンサンブルでの練習、3種類のグルーブでのセッション。セッションを通しての課題修正。【課題曲②】Run for Cover/アンサンブルでの練習、グルーブの考察。セッションを通しての課題修正。
【前期】 5～8回目	【課題曲②】Run for Cover/アンサンブルでの練習、グルーブの考察。セッションを通しての課題修正。【課題曲③】Cissy Strut/アンサンブルでの練習、バンド全体でのグルーブの考察、ノリの共有。セッションを通しての課題修正。
【前期】 9～12回目	【課題曲④】Pieces/アンサンブルでの練習、セッションを通しての課題修正。【課題曲⑤】The Chicken/アンサンブルでの練習、グルーブの考察。セッションを通しての課題修正。
【前期】 13～16回目	テストレビュー/前期テスト/【課題曲⑥】Sunny/アンサンブルでの練習、グルーブの考察。セッションを通しての課題修正。
【前期】 17～19回目	前期まとめ ■前期試験：課題曲の演奏により「アドリブ / アイデア / グループ / 一体感」の到達度を確認する。
【後期】 20～23回目	【課題曲⑦】City Living/アンサンブルでの練習、グルーブの考察。セッションを通しての課題修正。【課題曲⑧】Lay it Down/アンサンブルでの練習、グルーブの考察。セッションを通しての課題修正。
【後期】 24～27回目	【課題曲⑨】Georgy Porgy/アンサンブルでの練習、グルーブの考察。セッションを通しての課題修正。【課題曲⑩】Crazy Race/アンサンブルでの練習、グルーブの考察。セッションを通しての課題修正。
【後期】 28～31回目	【課題曲⑪】Just the Two of Us/アンサンブルでの練習、セッションを通しての課題修正。【課題曲⑫】Led Boots/アンサンブルでの練習、グルーブの考察。セッションを通しての課題修正。
【後期】 32～35回目	【課題曲⑫】Led Boots/アンサンブルでの練習、グルーブの考察。セッションを通しての課題修正。/テストレビュー/後期テスト/【課題曲⑬】Just Funky/アンサンブルでの練習、グルーブの考察。セッションを通しての課題修正。
【後期】 36～37回目	年間まとめ ■後期試験：課題曲の演奏により「アドリブ / アイデア / グループ / 一体感」の到達度を確認する。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「アドリブ / アイデア / グループ / 一体感」の4項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	当授業では、実際にバンドでどンドンセッションを回していきます。アンサンブルでは全員でリアルタイムで曲を作り上げていく感覚です。切磋琢磨し合い、即興演奏の楽しさを体感していきましょう。
備考	

# 専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	グループの歴史と体系		授業形態 / 必選	講義	選択
	学則別表上表記	音楽史 II	年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	37回(74単位時間)	年間単位数	4単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科 ギターヴォーカル/ギター				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目			該当 ■	非該当 □
担当講師 実務経歴	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ロックバンド「凶鑑」にてドリーミュージックよりアルバムを全国リリース</li> <li>・FREAK等、アーティストのコンサート、レコーディング時のバックアップミュージシャン</li> <li>上記の経歴を活かし、職業として求められる「演奏技術、アンサンブル力等」の指導を行う。</li> </ul>				
<b>授業概要</b>					
<p>様々なリズムを基調とした楽曲を用い、ロック・ファンク・ジャズ等、実際の曲それぞれのグルーブを学んでいきます。リズムを演奏する、からグルーブを生み出す、へ昇華していきます。</p>					
<b>到達目標</b>					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・より高度なリズムへの対応。</li> <li>・リズム感の向上。</li> <li>・グルーブを感じられる演奏の習得。</li> <li>・楽曲に応じたグルーブで演奏できる。</li> <li>・グルーブを感じられる演奏ができる。</li> </ul>					

授業計画・内容	
【前期】 1～4回目	【課題曲①～③】Immigrant Song/sex machine/Isn't she Lovely/リズム、グルーブの考察。テーマ、リフ、バックイングの練習。
【前期】 5～8回目	【課題曲④～⑥】I shot the sherrif/so what/Don't want you No more/リズム、グルーブの考察。テーマ、リフ、バックイングの練習。
【前期】 9～12回目	【課題曲⑦～⑨】The Chicken/Long Train Running(house ver)/Moanin'/リズム、グルーブの考察。テーマ、リフ、バックイングの練習。
【前期】 13～16回目	【課題曲9】Moanin'/リズム、グルーブの考察。テーマ、リフ、バックイングの練習。/テストレビュー/前期テスト
【前期】 17～19回目	前期まとめ ■前期試験：課題曲の演奏により「リズム / グルーヴ感 / ダイナミクス / 楽曲の把握」の到達度を確認する。
【後期】 20～23回目	【課題曲10～11】Led Boots/Getaway/リズム、グルーブの考察。テーマ、リフ、バックイングの練習。
【後期】 24～27回目	【課題曲12～14】Street Walkin' Woman/End of the Road/Take Five/リズム、グルーブの考察。テーマ、リフ、バックイングの練習。
【後期】 28～31回目	【課題曲14～16】Take Five/Good Clean Fun/Don't You Worry bout A thing/リズム、グルーブの考察。テーマ、リフ、バックイングの練習。
【後期】 32～35回目	【課題曲17】spain/リズム、グルーブの考察。テーマ、リフ、バックイングの練習。/テストレビュー/後期テスト
【後期】 36～37回目	年間まとめ ■前期試験：課題曲の演奏により「リズム / グルーヴ感 / ダイナミクス / 楽曲の把握」の到達度を確認する。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「リズム / グルーヴ感 / ダイナミクス / 楽曲の把握」の4項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	楽譜通り演奏できる事も大事ですが、ノリの良い演奏をする為には楽曲やジャンルに対してより深い理解が必要です。楽譜に表現できない部分を感じ、演奏してみましょう。
備考	

## 専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	アドバンスドギターⅡ		授業形態 / 必選	講義	選択
	学則別表上表記	作曲編曲Ⅱ	年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	37回(74単位時間)	年間単位数	4単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科 ギター				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目 該当 ■ 非該当 □				
担当講師 実務経歴	自身のバンド「パノラマメロウ」で精力的な活動後、近年はメジャーアーティストのレコーディング参加やアイドルグループ楽曲へギターで参加している。これまでゴダイゴ 浅野孝己氏、直訳ロッカー 王様氏、ALLI氏なども共演。上記の経歴を活かし、職業として求められる「演奏技術、表現力等」の指導を行う。				
<b>授業概要</b>					
実際の現場において要求度の高い実践テクニックや知識を学び、即戦力的なミュージシャン力を身に着ける。					
<b>到達目標</b>					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な課題曲内の特徴的なフレーズを学習し自身のボキャブラリーを増やす。</li> <li>・その時求められる演奏内容をシンプルな譜面から考えだし演奏する。</li> <li>・実際の現場でやり取りされている譜面への対応力が身につく。</li> <li>・幅広い音楽的価値観やアイデア、またそれを実行しうる技術が身につく。</li> </ul>					

授業計画・内容	
【前期】 1～4回目	リズムのトレーニングと譜面上での理解、休符とロングトーンの音楽的解釈、ベンディングにおける音程理解と表記法歌唱を取り入れた高パフォーマンスなギター学習
【前期】 5～8回目	現場用譜面を使用した演奏・学習～①
【前期】 9～12回目	ピッキング&フィンガリングを音楽的に成熟させるトレーニング
【前期】 13～16回目	現場用譜面を使用した演奏・学習～②
【前期】 17～19回目	前期総合復習 ■前期試験：課題曲の演奏により「状況適応力 / 音楽的表現力 / 正確なピッチ / 確実な発音」の到達度を確認する。
【後期】 20～23回目	現場用譜面を使用した演奏・学習～③
【後期】 24～27回目	ギタープレイ・エクステンション～①
【後期】 28～31回目	現場で通用する譜面作成を学ぶ
【後期】 32～35回目	ギタープレイ・エクステンション～②
【後期】 36～37回目	年間総合復習 ■後期試験：課題曲の演奏により「状況適応力 / 音楽的表現力 / 正確なピッチ / 確実な発音」の到達度を確認する。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「状況適応力 / 音楽的表現力 / 正確なピッチ / 確実な発音」の4項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	すでに修得した、あるいは現在学習中の理論や奏法は実際の楽曲上や現場で行われているセッション等で使えなければ宝の持ち腐れとなってしまいます。実際のライブやレコーディングで活用できるよう、自身が持っているアイデアを具現化する術を身につけましょう。
備考	使用参考書「ジャズスタンダード集」

## 専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	オリジナルワーク/スタジオワークⅡ		授業形態 / 必選	実習	選択
	学則別表上表記	作品制作Ⅱ	年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	74回(148単位時間)	年間単位数	4単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科 ヴォーカル/シンガーソングライター/ギターヴォーカル/ギター/ベース/ドラム				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目			該当 ■	非該当 □
担当講師 実務経歴	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ロックバンド「凶鑑」にてドリーミュージックよりアルバムを全国リリース</li> <li>・FREAK等、アーティストのコンサート、レコーディング時のバックアップミュージシャン</li> <li>上記の経歴を活かし、職業として求められる「演奏技術、アンサンブル力等」の指導を行う。</li> </ul>				
<b>授業概要</b>					
<p>基礎課程で積み上げてきた知識、技能の総体としてクリエイティブな応用実践で音楽やパフォーマンス作品を作り上げていきます。また、グループプロジェクトとして企画、打合せ、譜面制作、リハーサル、レコーディング、ステージ本番に至るスケジュールリングを行い、構成員の考えや芸術観などお互いにコネクトしながらより良い制作の方法を考えることにも重点を置きます。</p>					
<b>到達目標</b>					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・エンターテインメントの基本構造の理解、表現学習、作品制作、ステージ発表などを習得のサイクルとし、徐々に表現レベルを上げていきます。</li> <li>・メンバー全員でひとつのプロジェクトを作ることを経験し、今後の活動に生かすことが出来るようにし、且つクオリティーの高い楽曲制作と演奏が出来るようにシミュレーションを重ねます。</li> <li>・自身のポテンシャルを高めて、将来的な可能性の幅を広げることが可能になります。</li> <li>・チームワーク、協調性を養います。</li> </ul>					

授業計画・内容	
【前期】 1～8回目	決められたメンバーと協力し合い、ひとつのプロジェクトを作り、ライブ演奏、レコーディングに向けた企画とスケジュールリングを行う。構成員の発想を集約し方向性の確認も行う。
【前期】 9～16回目	イベントプロジェクトの企画案に従い、オリジナルの抽出、楽曲の選定、またアレンジの振り分けなど個々の特性と将来像に応じて構成員の役割を決定していく。
【前期】 17～24回目	オリジナルナンバーのコンセプトやアレンジを確認しあい、演奏や歌唱を行いながら修正点を抽出していきます。また活発な意見の発議でそれぞれの考えを確認する。
【前期】 25～32回目	楽曲演出や演奏の完成度を上げるためにグループとしての実力を指導すると同時に個々へ与えられた課題を確実にクリアし、プロジェクトに反映させていく。
【前期】 33～38回目	前期の授業で制作してきた作品の総仕上げ～ステージ発表またはレコーディングを行い形に残す。 ■前期試験：作品の発表により「クオリティー/技術力/表現力/コミュニケーション力」の到達度を確認する。
【後期】 39～46回目	後期はより高度なプロジェクトコンセプトをグループごとに思考し、ライブ演奏、レコーディングに向けた企画とスケジュールリングを行う。構成員の発想を集約し方向性の確認も行う。
【後期】 47～54回目	イベントプロジェクトの企画案に従い、オリジナルの抽出、楽曲の選定、またアレンジの振り分けなど個々の特性と将来像に応じて構成員の役割を決定していく。
【後期】 55～62回目	オリジナルナンバーのコンセプトやアレンジを確認しあい、演奏や歌唱を行いながら修正点を抽出していきます。また活発な意見の発議でそれぞれの考えを確認する。
【後期】 63～70回目	楽曲演出や演奏の完成度を上げるためにグループとしての実力を指導すると同時に個々へ与えられた課題を確実にクリアし、プロジェクトに反映させていく。
【後期】 71～74回目	後期の授業で制作した作品の総仕上げ～ステージ発表またはレコーディングを行い形に残す。 ■後期試験：作品の発表により「クオリティー/技術力/表現力/コミュニケーション力」の到達度を確認する。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「クオリティー/技術力/表現力/コミュニケーション力」の4項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	一作品をグループで作りに上げるプロセスの中で生じる葛藤や苦悩という生みの苦しみを体験しながら、作品完成時に感じる達成感や喜びを授業を通してシミュレーションしておきましょう。また基礎課程で培ったパーツを組み合わせる応用課程のクリエイティブティも存分に発揮してください。
備考	

# 専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	リズムギターバックギンク/カッティングⅡ		授業形態 / 必選	実習	選択
	学則別表上表記	歌唱/演奏基礎技術Ⅱ	年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	37回(74単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科 ギター				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目			該当 ■	非該当 □
担当講師 実務経歴	テレビCM「ビブレ」音源制作 ・LA☆CAPE「暗黙の了解」/作曲 また演奏においてはマイク・スターン、マーカス・ミラー、ポール・ジャクソンなど、世界で活躍するアーティストとも共演。 上記の経歴を活かし、職業として求められる「演奏技術、編曲の技術と知識等」の指導を行う。				
授業概要					
複雑なテンションコード、指盤上の度数の配置、様々なスタイルのストローク、理論も交えながらコードの応用を学ぶ。					
到達目標					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・オリジナルなバックギンクを考えることができる。</li> <li>・リズム良くコード進行が弾けるようになる。</li> <li>・コード理論を理解する。 ・楽曲のアレンジ等にコードを利用する。</li> <li>・楽曲のコード進行をアレンジ出来るようになる。</li> <li>・コードの成り立ちを理解することにより、キーの理解、作曲等に応用する。</li> </ul>					

授業計画・内容	
【前期】 1～4回目	【課題曲①】楽曲の考察とリズムの把握、テーマ&バックギンクの練習
【前期】 5～8回目	【課題曲①】テンションコードでのバックギンク、フレーズ考察、Scale考察→フレーズ作成
【前期】 9～12回目	【課題曲①】アドリブプレイの様々なアプローチの考察、ポキャブラリーを増やす。
【前期】 13～16回目	【課題曲②】楽曲の考察とリズムの把握、テーマ&バックギンクの練習
【前期】 17～19回目	【課題曲②】テンションコードでのバックギンク、コード進行のアナライズ、Scale考察: Dominant Scaleの理解と使用 ■前期試験: 課題曲の演奏により「コードフォーム/コード進行の演奏」の到達度を確認する。
【後期】 20～23回目	【課題曲③】楽曲の考察とリズムの把握、テーマの練習
【後期】 24～27回目	【課題曲③】バックギンクの練習、テンションコードでのバックギンク
【後期】 28～31回目	【課題曲③】コード進行のアナライズ、Scale考察→フレーズ作成
【後期】 32～35回目	【課題曲③】仕上げ: チェックを兼ねたSession形式の発表会
【後期】 36～37回目	年間まとめ、総復習 ■後期試験: 課題曲の演奏により「コードフォーム/コード進行の演奏」の到達度を確認する。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「コードフォーム/コード進行の演奏」の2項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	コードをしっかり弾けることはとても大切なことで、ギタリストはソロに注目がちですが、演奏のほとんどはコードを弾くことです。理論や複雑なコードを学んでいくにつれ、多彩なバックギンクが弾けるようになります。
備考	

## 専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	シングルストリングス&スケールⅡ		授業形態 / 必選	実習	選択
	学則別表上表記	歌唱/演奏応用技術Ⅱ	年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	37回(74単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科 ギター				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目			該当 ■	非該当 □
担当講師 実務経歴	<ul style="list-style-type: none"> <li>・奥本亮、清水麻八子他、アーティストのコンサート時のバックアップミュージシャン</li> <li>・流星群少女、茜つばき、初めてガールズ!、トキライキル等、アーティストのレコーディング時のバックアップミュージシャン</li> </ul> 上記の経歴を活かし、職業として求められる「演奏技術、音楽理論等」の指導を行う。				
<b>授業概要</b>					
これまで学んだスケールの熟成と新たなスケール知識の習得を目指す。また、様々な音楽スタイルでのリード演奏、メロディー作り、インプロヴィゼーションを可能にする。					
<b>到達目標</b>					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ノンダイアトニックを含むコード進行で使用できるスケール知識を理解する。</li> <li>・音楽スタイルの違いによるサウンドや演奏内容の変化を理解し、適切な演奏をする。</li> <li>・楽曲のコード進行や音楽スタイルを分析し、使用するスケールの選択ができる。</li> <li>・様々な音楽スタイルに対応できうる幅広い演奏技術と対応力を身につける。</li> </ul>					

授業計画・内容	
【前期】 1～4回目	4種類のセブンスアルペジオの構造・ポジション・奏法を学ぶ(メジャーセブン、ドミナントセブン、マイナーセブン、マイナーセブンb5)
【前期】 5～8回目	セブンス系アルペジオを組み合わせたフレージング、またスケールとセブンス系アルペジオの融合を学ぶ
【前期】 9～12回目	ノンダイアトニックコードを含むコードプログレッションを分析し、インプロヴィゼーションの手法を学ぶ
【前期】 13～16回目	生徒オリジナルのコード進行を作成し、その上でリードプレイを構築するトレーニング
【前期】 17～19回目	前期総合復習 ■前期試験: 課題曲の演奏により「スケールポジション把握 / リズムキープ / 正確なピッチ / 確実な発音 / 音楽的インプロヴィゼーション」の到達度を確認する。
【後期】 20～23回目	メロディックマイナースケール、リディアンドミナントスケールを学ぶ
【後期】 24～27回目	オルタードスケールを学ぶ、メロディックマイナー系スケールの活用法を分析
【後期】 28～31回目	ディミニッシュ系アルペジオとスケール、ホールトーンスケールとクロマチックスケール、オーギュメントアルペジオを学ぶ
【後期】 32～35回目	様々なスケールの紹介と考え方
【後期】 36～37回目	総合復習 ■後期試験: 課題曲の演奏により「スケールポジション把握 / リズムキープ / 正確なピッチ / 確実な発音 / 音楽的インプロヴィゼーション」の到達度を確認する。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「スケールポジション把握 / リズムキープ / 正確なピッチ / 確実な発音 / 音楽的インプロヴィゼーション」の5項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	世にある様々な楽曲はベーシックな理論・技術のみならず、それらをさらに発展させた多様な手法により生み出され演奏されています。さらに発展的な理論と技術を学び可能な限り準備しておくことで、いま現存する音楽はもちろん、これから生み出されていく新たな音楽にも対応しやすいでしょう。あるいはあなた自身新しいものを生み出すための手助けにさえるでしょう。
備考	使用教科書「Single Strings 2」



## 専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	グループアンサンブル実習		授業形態 / 必選	実習	選択
	学則別表上表記	サウンドアナライズⅡ	年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	37回(74単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科 ギターヴォーカル/ギター				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目			該当 ■	非該当 □
担当講師 実務経歴	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ロックバンド「凶鑑」にてドリーミュージックよりアルバムを全国リリース</li> <li>・FREAK等、アーティストのコンサート、レコーディング時のバックアップミュージシャン</li> <li>上記の経歴を活かし、職業として求められる「演奏技術、アンサンブル力等」の指導を行う。</li> </ul>				
<b>授業概要</b>					
<p>様々なリズムを基調とした楽曲を用い、ロック・ファンク・ジャズ等、実際の曲それぞれのグルーヴを学んでいきます。リズムを演奏する、からグルーヴを生み出す、へ昇華していきます。当授業ではアンサンブル形式で練習していきます。</p>					
<b>到達目標</b>					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・より高度なリズムへの対応。</li> <li>・リズム感の向上。</li> <li>・バンドで一体となってグルーヴする演奏の習得。</li> <li>・楽曲に応じたグルーヴで演奏できる。</li> <li>・一体感のある演奏ができる。</li> </ul>					

授業計画・内容	
【前期】 1～4回目	【課題曲①～③】Immigrant Song/sex machine/Isn't she Lovely/アンサンブル形式での練習、発表。グルーヴの研究。
【前期】 5～8回目	【課題曲④～⑥】I shot the sherrif/so what/Don't want you No more/アンサンブル形式での練習、発表。グルーヴの研究。
【前期】 9～12回目	【課題曲⑦～⑨】The Chicken/Long Train Running(house ver)/Moanin'/アンサンブル形式での練習、発表。グルーヴの研究。
【前期】 13～16回目	【課題曲9】Moanin'/アンサンブル形式での練習、発表。グルーヴの研究。/テストレビュー/前期テスト
【前期】 17～19回目	<p>前期まとめ</p> <p>■前期試験: 課題曲の演奏により「リズム / グルーヴ感 / ダイナミクス / 楽曲の把握 / 一体感 / チューニング」の到達度を確認する。</p>
【後期】 20～23回目	【課題曲10～11】Led Boots/Getaway/アンサンブル形式での練習、発表。グルーヴの研究。
【後期】 24～27回目	【課題曲12～14】Street Walkin' Woman/End of the Road/Take Five/アンサンブル形式での練習、発表。グルーヴの研究。
【後期】 28～31回目	【課題曲14～16】Take Five/Good Clean Fun/Don't You Worry bout A thing/アンサンブル形式での練習、発表。グルーヴの研究。
【後期】 32～35回目	【課題曲17】spain/アンサンブル形式での練習、発表。グルーヴの研究。/テストレビュー/後期テスト
【後期】 36～37回目	<p>年間まとめ</p> <p>■後期試験: 課題曲の演奏により「リズム / グルーヴ感 / ダイナミクス / 楽曲の把握 / 一体感 / チューニング」の到達度を確認する。</p>
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「リズム / グルーヴ感 / ダイナミクス / 楽曲の把握 / 一体感 / チューニング」の6項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	バンド全体で一つのグルーヴを演奏することは難しいですが、グルーヴしているバンドの演奏の一体感は聴く人を高揚させ、動かすことができます。そんな演奏を目指して頑張ってみましょう。
備考	

# 専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	ライブスタイル実習Ⅱ		授業形態 / 必選	演習	選択
	学則別表上表記	アンサンブル基礎Ⅱ	年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	37回(74単位時間)	年間単位数	4単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科 ギター				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目			該当 ■	非該当 □
担当講師 実務経歴	テレビCM「ビブレ」音源制作 ・LA☆CAPE「暗黙の了解」/作曲 また演奏においてはマイク・スターン、マーカス・ミラー、ポール・ジャクソンなど、世界で活躍するアーティストとも共演。 上記の経歴を活かし、職業として求められる「演奏技術、アンサンブル力等、表現力等」の指導を行う。				
<b>授業概要</b>					
幅の広い楽曲を用い、実際のライブ形式で演奏していきます。演奏技術の向上はもちろん、演奏だけでなくステージング、音響、照明など含めた総合的な演出まで考える力を養っていきます。					
<b>到達目標</b>					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・魅せる演奏ができるようになる。</li> <li>・演奏だけでなく、ステージング、音響、照明などを含めた演出プランを考える力を習得する。</li> <li>・オーディエンスを意識した演奏ができる。</li> <li>・ステージング・音響・照明などを含めた演出を考えられる。</li> </ul>					

授業計画・内容	
【前期】 1～4回目	【課題曲①】テーマ・リフ・バックイング・ソロ・リズムの考察、練習。ボーカルを含めたアンサンブル形式での練習、アレンジ。音響・照明プロットの提出。ライブホールでのリハーサル、発表、撮影。映像を見ながらのディスカッション。【課題曲②】テーマ・リフ・バックイング・ソロ・リズムの考察、練習。
【前期】 5～8回目	【課題曲②】ボーカルを含めたアンサンブル形式での練習、アレンジ。アンサンブルルームでの発表、撮影。映像を見ながらのディスカッション。【課題曲③】テーマ・リフ・バックイング・ソロ・リズムの考察、練習。ボーカルを含めたアンサンブル形式での練習、アレンジ。音響・照明プロットの提出。
【前期】 9～12回目	【課題曲③】ライブホールでのリハーサル、発表、撮影。映像を見ながらのディスカッション。ライブウィークに向けた練習、アレンジ、演出プラン作成。
【前期】 13～16回目	ライブウィークでの発表。テストレビュー/前記テスト/【課題曲④】テーマ・リフ・バックイング・ソロ・リズムの考察、練習。ボーカルを含めたアンサンブル形式での練習、アレンジ。
【前期】 17～19回目	【課題曲④】アンサンブルルームでの発表、撮影。映像を見ながらのディスカッション。/前期まとめ ■前期試験：課題曲の演奏により「リズム / コミュニケーション / 楽曲の把握 / ダイナミクス / パフォーマンス」の到達度を確認する。
【後期】 20～23回目	【課題曲⑤】テーマ・リフ・バックイング・ソロ・リズムの考察、練習。ボーカルを含めたアンサンブル形式での練習、アレンジ。音響・照明プロットの提出。ライブホールでのリハーサル、発表、撮影。映像を見ながらのディスカッション。【課題曲⑥】テーマ・リフ・バックイング・ソロ・リズムの考察、練習。
【後期】 24～27回目	【課題曲⑥】ボーカルを含めたアンサンブル形式での練習、アレンジ。アンサンブルルームでの発表、撮影。映像を見ながらのディスカッション。【課題曲⑦】テーマ・リフ・バックイング・ソロ・リズムの考察、練習。ボーカルを含めたアンサンブル形式での練習、アレンジ。音響・照明プロットの提出。
【後期】 28～31回目	【課題曲⑦】ライブホールでのリハーサル、発表、撮影。映像を見ながらのディスカッション。【課題曲⑧】テーマ・リフ・バックイング・ソロ・リズムの考察、練習。ボーカルを含めたアンサンブル形式での練習、アレンジ。
【後期】 32～35回目	【課題曲⑧】アンサンブルルームでの発表、撮影。映像を見ながらのディスカッション。テストレビュー/後期テスト/ライブウィークに向けた練習、アレンジ、演出プラン作成。
【後期】 36～37回目	年間まとめ ■後期試験：課題曲の演奏により「リズム / コミュニケーション / 楽曲の把握 / ダイナミクス / パフォーマンス」の到達度を確認する。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「リズム / コミュニケーション / 楽曲の把握 / ダイナミクス / パフォーマンス」の5項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	皆さんが憧れるアーティストのライブには、演奏技術だけでなく様々な惹きつけられる要素があるはずです。ただ上手いだけの演奏ではなく、オーディエンスを沸かせるステージング、演出を考えていきましょう。
備考	

## 専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	ライブパフォーマンス実習Ⅱ		授業形態 / 必選	演習	選択
	学則別表上表記	アンサンブル応用Ⅱ	年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	37回(74単位時間)	年間単位数	4単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科 ギター				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目			該当 ■	非該当 □
担当講師 実務経歴	テレビCM「ビブレ」音源制作 ・LA☆CAPE「暗黙の了解」/作曲 また演奏においてはマイク・スターン、マーカス・ミラー、ポール・ジャクソンなど、世界で活躍するアーティストとも共演。 上記の経歴を活かし、職業として求められる「演奏技術、アンサンブル力等、表現力等」の指導を行う。				
<b>授業概要</b>					
幅の広い楽曲を用い、実際のライブ形式で演奏していきます。ライブ実習Ⅱ①の講義と合わせ、演奏技術の向上はもちろん、演奏だけでなくステージング、音響、照明など含めた総合的な演出まで考える力を養っていきます。					
<b>到達目標</b>					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ライブ実習Ⅱ①の講義をもとに、さらに魅せる演奏ができるようになる。</li> <li>・演奏だけでなく、ステージング、音響、照明などを含めた演出プランを考える力を習得する。</li> <li>・オーディエンスを意識した演奏ができる。</li> <li>・ステージング・音響・照明などを含めた演出を考えられる。</li> </ul>					

授業計画・内容	
【前期】 1～4回目	【課題曲①】テーマ・リフ・バックキング・ソロ・リズムの考察、練習。ボーカルを含めたアンサンブル形式での練習、アレンジ。音響・照明プロットの提出。ライブホールでのリハーサル、発表、撮影。映像を見ながらのディスカッション。【課題曲②】テーマ・リフ・バックキング・ソロ・リズムの考察、練習。
【前期】 5～8回目	【課題曲②】ボーカルを含めたアンサンブル形式での練習、アレンジ。アンサンブルルームでの発表、撮影。映像を見ながらのディスカッション。【課題曲③】テーマ・リフ・バックキング・ソロ・リズムの考察、練習。ボーカルを含めたアンサンブル形式での練習、アレンジ。音響・照明プロットの提出。
【前期】 9～12回目	【課題曲③】ライブホールでのリハーサル、発表、撮影。映像を見ながらのディスカッション。ライブウィークに向けた練習、アレンジ、演出プラン作成。
【前期】 13～16回目	ライブウィークでの発表。テストレビュー/前記テスト/【課題曲④】テーマ・リフ・バックキング・ソロ・リズムの考察、練習。ボーカルを含めたアンサンブル形式での練習、アレンジ。
【前期】 17～19回目	【課題曲④】アンサンブルルームでの発表、撮影。映像を見ながらのディスカッション。/前期まとめ ■前期試験：課題曲の演奏により「リズム / コミュニケーション / 楽曲の把握 / ダイナミクス / パフォーマンス」の到達度を確認する。
【後期】 20～23回目	【課題曲⑤】テーマ・リフ・バックキング・ソロ・リズムの考察、練習。ボーカルを含めたアンサンブル形式での練習、アレンジ。音響・照明プロットの提出。ライブホールでのリハーサル、発表、撮影。映像を見ながらのディスカッション。【課題曲⑥】テーマ・リフ・バックキング・ソロ・リズムの考察、練習。
【後期】 24～27回目	【課題曲⑥】ボーカルを含めたアンサンブル形式での練習、アレンジ。アンサンブルルームでの発表、撮影。映像を見ながらのディスカッション。【課題曲⑦】テーマ・リフ・バックキング・ソロ・リズムの考察、練習。ボーカルを含めたアンサンブル形式での練習、アレンジ。音響・照明プロットの提出。
【後期】 28～31回目	【課題曲⑦】ライブホールでのリハーサル、発表、撮影。映像を見ながらのディスカッション。【課題曲⑧】テーマ・リフ・バックキング・ソロ・リズムの考察、練習。ボーカルを含めたアンサンブル形式での練習、アレンジ。
【後期】 32～35回目	【課題曲⑧】アンサンブルルームでの発表、撮影。映像を見ながらのディスカッション。テストレビュー/後期テスト/ライブウィークに向けた練習、アレンジ、演出プラン作成。
【後期】 36～37回目	年間まとめ ■後期試験：課題曲の演奏により「リズム / コミュニケーション / 楽曲の把握 / ダイナミクス / パフォーマンス」の到達度を確認する。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「リズム / コミュニケーション / 楽曲の把握 / ダイナミクス / パフォーマンス」の5項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	皆さんが憧れるアーティストのライブには、演奏技術だけでなく様々な惹きつけられる要素があるはずです。ただ上手いだけの演奏ではなく、オーディエンスを沸かせるステージング、演出を考えていきましょう。
備考	